

4月は新学期・新入社の季節です。生活道路では通学路に注意！
新社会人の方は慣れない社用車での無理な運転は禁物です。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



身軽な児童、間一髪！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎信号のない横断歩道は歩行者優先です。
- ◎安易な追い抜きは事故のもと！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



集団登下校の小学生が横断中



この映像の訴求ポイントは…

- ◎横断歩道の通過は徐行が鉄則です。
- ◎子供は飛び出すものと思え！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



右側確認なしに歩道を走る自転車



この映像の訴求ポイントは…

- ◎ガードレールの切れ目からの車道飛び出しにご注意を。
- ◎あなたから見えていても相手が気づいているとは限りません。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



車列の横切りは見通しの悪い出会い頭



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の切れ目は見通しの悪い交差点と同じ（出会い頭）。
- ◎車列の切れ目から飛び出すのは…車・自転車・歩行者。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号見落としヒヤリハット



この映像の訴求ポイントは…

- ◎目は見ているのに脳は見えていないことがある（意識の脇見）。
- ◎走行中は運転操作だけ。別のことは駐・停車中に！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ドライブレコーダー映像を見るのは交通安全にどう役立つのでしょうか？

自動車の運転は、「認知→判断→操作」のサイクルで成り立ちます。運転中に会った交通環境のなかで事故へと至る危険を読み取って（認知）、事故回避のためになにをすべきかを考え（判断）、ブレーキをかける・ハンドルをきるといった運転操作を行う（操作）。この一連の動作のなかで、最初の「認知」が最も重要であることは言うまでもありません。では、良く周りを見て注意をすれば、事故は防げるのでしょうか？

まず、第一に、運転中に刻々と変化する交通状況のなかで「どこを見るべきか」「何に気をつけるべきか」というように、注意すべきポイントを知っていることが必要です。交通事故は様々な状況で起こりますが、お互いが接触することで事故が起きることだけは共通しています。咄嗟に相手がこちらに向かってきてもできる限り接触を避けることが可能な運転はどうすれば良いのか？それを多くのパターンで学ぶことが必要になります。

第二に、自動車は非常に早い速度で移動していますから、見たその瞬間に事故へと至る危険を読み取って瞬時に適切な判断・操作につなげなくてはなりません。このようなスピードを要求される認知・判断・操作は自然に身につくものではありません。

これから皆さんに毎月ご覧いただく映像は、皆さんと同じマイカードライバーが現実にも目の当たりにした事故やニアミスの事例を記録したものです。これらの映像を見る意義は、同じようにハンドルを握る私たちにとって事故やニアミスを疑似体験させてくれることにあります。すなわち、皆さんが運転中に映像と似たような交通環境に遭遇したときに映像のシーンを思い出し、暗示される危険を連想することで危険回避の運転操作につなげることが期待できるのです。

そのためには、できるだけ記憶に残りそうな映像を、できるだけ多く、できれば継続的に見ていただくことが重要です。ぜひ講習時だけでなく、プライベートでも、ドライブレコーダー映像をご覧になってください。見続けていれば、いつのまにか安全運転が身についているはずですよ。

☆右のサイトでは、DVDに未収録のドライブレコーダー映像も多数ご覧いただけます。ぜひ一度、アクセスしてみてください。



皆さんが運転中に映像のシーンを思い出して未然に事故回避できる運転操作につなぐことがあったなら、講習は大成功です！



ドラドラ動画 <http://www.drive-drive.jp/>

